

令和4年度 さいたま市立本太小学校 第2回学校運営協議会 議事録

【日 時】 令和4年11月28日（月） 10時00分～11時15分

【場 所】 本太小学校 南校舎3階 コンピュータ室

○議事録

司会：教頭 書記：学校地域連携コーディネーター

1 開会

2 あいさつ

・校長あいさつ

3 説明及び協議（司会：委員長）

（1）学校運営及び取組実践の中間報告

①学校経営に関すること

○校長より、配付資料をもとに以下の点について説明

I 学力調査について

- ・4月に行った全国学力・学習状況調査の結果は、高い水準にある。全国及びさいたま市の平均を上回った。今の「学ぶ」意欲を大切にしたい。
- ・あえて課題をあげるとすると、設問に対し無回答があること。できることに関してはほとんどやるが、苦手と思ったことには、根気強く打ち込むことが苦手な部分がある。
- ・課題解決のため、日々の学習の中で、条件を付けて「書く」こと、特に「わからなくても時間まであきらめない」ことを支援している。また、話合いを通し、「自分の考えをまとめる」ことについても支援している。

II 心の教育の支援について

- ・コロナ禍3年目となり、不安を表に出す子が増えた。特に、コロナにかかった後に、外に出ること自体が不安、というものもある。
- ・まずはしっかり担任が寄り添うこと、また、SCやSSWも対応するようにしている。さらには、教育相談室、あいぱれっと、児童相談所等とも連携を続けながら、児童の心の揺れに寄り添った対応をしていく。
- ・今後も、子どもたちに安心・安全な環境をつくっていく。

III 予算執行について

- ・順調な予算の執行状況である。

- ・特に印刷費の削減については、計画通りに進んでいる。
- ・給食費が上がった影響があったが、教育委員会の補助により、予算を維持することができている。

IV 教職員の研究・研修

- ・11月11日の道徳科授業公開を実施し、多くのお褒めの言葉をいただいたが、発表して終わりではなく、これを児童の心をつけていくスタートとしたい。

V その他

- ・学校運営協議会の内容について、ホームページや学校だよりで、今後も保護者、地域の方々に広めていきたい。

②学校行事に関すること（体育授業公開ビデオ・行事写真等）

○教頭より、体育授業公開の映像及び行事や児童の活動の様子を、写真をもとに説明

（2）熟議『『児童につけたい力』実現のために、『学校・家庭・地域がそれぞれ担って取り組めることは何か』』

→以下の2点について熟議

- ① 11月11日授業感想
- ② それぞれの取組及び児童の様子の報告

Aグループ

① について

- ・ICTが活用されていた。黒板とICT、オンラインと対面など、効果的に活用していくことが大切。

② について

○主に「挨拶」について話し合われた。

- ・公民館では、元気に挨拶ができています。もっと公民館に親しんでほしい。
- ・イベントの参加を促したい。文化祭も復活させたいと思っている。
- ・そろばん、チャレンジスクールでは、挨拶はよくできている。一生懸命に取り組んでいる。昔の文化に触れる機会となっている。
- ・小・中連携により挨拶の力が伸びている。
- ・まちたんけんで中学校に行ったが、よい接続となった。
- ・地域の声かけ→子どもの返答、これを続けていきたい。

Bグループ

① について

- ・子どもたちが活発に意見を言い合っていて大変よかった。ひとつのテーマ

で色々な意見を出し合うというのはよいなと感じた。

- ・まとめられた意見は、よいものが多くあった。
- ・学年の実態などに合ったテーマの授業をされていた。
- ・それぞれの授業のめあてに合った意見が、児童からよく出されていた。

② について

○主に「挨拶」について話し合われた。

- ・学校ではかなりするようになった。保護者に対しても少し増えてきたという意見も聞いている。しかし、地域の方にはほとんどできていない。
- ・挨拶をしても返ってこないことが多い。
- ・また、横断歩道は手を挙げて渡ろうとも声かけしているが、ほとんど挙げない。
- ・中学校では、挨拶は3年生がよくやっている。1年生は少ない。挨拶運動等は、生徒がやることに意味がある。
- ・マンションの中でなどでは、目を合わせて挨拶をする子はあるが、道ではほとんどしない。

Cグループ

① について

- ・子どもたちの意見を引き出す、本音を引き出そうとしている先生の意図が見受けられ、とてもよかった。
- ・黒板にパネル形式でわかりやすく表現されていて、安心して見られた。
- ・学校環境がよくなって、外部の方からも好評だった。
- ・高学年になればなるほど、周りの顔色をうかがいながら発言している様子も見受けられた。難しさを感じた。

② について

- ・子どもたちのコミュニケーション力をつけるために、PTA同士のコミュニケーションを活発にする。
- ・地区会として、高学年を巻き込んで、子供育成会地区会のようなものをコラボしてもよいかと思う。
- ・PTAと地区会のつながりを活性化したい。
- ・学校では、代表委員会の活動で、子どもたちが自主的にあいさつ運動やいじめ撲滅クエストなどを行っている。
- ・学校での挨拶がよくなってきている。小・中合同の挨拶運動も実践した。挨拶に関して、取組による効果が出てきている。
- ・他の委員会活動を活発にし、自主的な活動を広げていけるような取組を今後行っていきたい。

4 学校運営等に関する申し出
(特に意見なし)

5 諸連絡

(1) 横断幕掲載フレーズについて

(2) 次回以降の日程について

6 閉会